

# 職業リハ学会通信

NO.153 2018年 3月発行

学会大会

第46回大会への研究発表の応募、大会参加申し込みをお待ちしています！2018年8月24日(金)～25日(土)、札幌の北星学園大学にて

大会長 上野 武治  
(さっぽろひかり福祉会理事長、北海道大学名誉教授)  
大会実行委員長 八田 達夫  
(日本医療大学教授、北海道大学名誉教授)

今大会ではテーマ「障がい者雇用・就労の差別解消にむけて～これまでの10年、これからの10年」を深めるために、「基調講演」と「基調シンポジウム」を企画しています。

以下、「開催要項」にそって説明しますが、皆さんの活発な討論によって実りある大会となることを期待しています。

「申し込み」等は大会ホームページ(4月上旬開設予定)からお願いします。

## 【大会の概要】

### 8月24日(金)

- |             |   |
|-------------|---|
| 9:30-10:00  | 研修基礎講座の受付   |
| 10:00-12:00 | 研修基礎講座<br>講座 A「精神障害者の雇用について」<br>相澤 欽一氏(障害者総合センター)<br>講座 B「障害者雇用にまつわるハラスメント・虐待について」<br>志賀 利一氏(のぞみ園)<br>講座 C「実践研究の始め方ー入門編(現場の取り組みをどの様に研究につなげるか)」<br>小川 浩氏(大妻女子大学) |
| 12:00-13:00 | 大会受付、昼食   |
| 13:00-13:10 | 開会式   |
| 13:00-14:10 | 基調講演「障がい者雇用・就労の差別解消に向けて<br>～これまでの10年、これからの10年」<br>上野 武治(大会長)  |
| 14:30-16:00 | 研究・実践発表(口頭発表)、自主ワークショップ   |
| 16:15-17:45 | 研究・実践発表(口頭発表)、自主ワークショップ   |
| 18:15-20:00 | 懇親会(学生会館3階)   |

## 8月25日(土)

- 9:00-11:00 2日目受付
- 9:15-10:15 会員総会
- 10:30-12:00 学会政策委員会ワークショップ、自主ワークショップ  
ポスター発表、研究・実践発表(口頭発表)
- 12:00-13:00 昼食
- 13:00-15:00 基調シンポジウム「障がい者雇用・就労の差別解消に向けて  
～これまでの10年、これからの10年」  
司会：上野 武治、八田 達夫
1. 職業リハビリテーションの国際基準をめぐる国内外の動向  
松井 亮輔氏(国際リハビリテーション協会(RI)国内事務局長、  
法政大学名誉教授)
  2. わが国における保護雇用の創設と就労継続支援A型事業所  
上野 武治氏(さっぽろひかり福祉会理事長、北海道大学名誉教授)
  3. デイサービスの実現—働く障害者のために—  
朝日 雅也氏(日本職業リハビリテーション学会会長、  
埼玉県立大学教授)
- 指定討論  
西村 正樹氏(DPI日本会議副議長、  
社会福祉法人アンビシャス総合施設長)

15:00-15:30 閉会式・授賞式

### 【研究・実践発表、自主ワークショップの募集】

4月9日(月)～5月20日(日)

発表論文原稿の送付期限：7月3日(火)

### 【大会参加申し込み】

事前申し込み 4月中旬～8月上旬(予定)

参加料

事前申し込み 会員 3,000円、非会員 4,000円、学生 1,500円

当日申し込み 会員 4,000円、非会員 5,000円、学生 1,500円

研修基礎講座 会員無料、非会員 1,500円

懇親会 4,000円

### 【会場へのアクセス】

会場 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1(市中心部より新千歳空港寄りの地)

空港バス 「地下鉄大谷地駅」下車、徒歩数分

JR 「新札幌駅」で下車、地下鉄に乗り替えて「大谷地駅」下車、徒歩数分

地下鉄 市内からは東西線「新さっぽろ行き」で「大谷地駅」下車、徒歩数分

### 【宿舎と航空便の確保】

8月の札幌は宿舎や航空便の確保は困難になりますので、早目の確保をお願いします。

### 【大会テーマ関連情報】

「障害者の安定雇用・安心就労の促進をめざす議員連盟」が発足

基調シンポジストの松井亮輔氏から超党派の「障害者の安定雇用・安心就労の促進をめざす議員連盟(略称：インクルーシブ雇用議連)」発足のニュースをいただきましたので、紹介します。

3月5日付け「福祉新聞」等によると、去る2月27日、インクルーシブ雇用議連が与野党の議員約80名で設立され、会長には自民党の川崎二郎・元厚労相、事務局長には自民党の穴見陽一氏が就任した。この呼びかけ人は超党派の議員(川崎二郎、尾辻秀久、長妻昭、山本博司、山井和則、福島瑞穂、高橋千鶴子、石井苗子、穴見陽一、石橋通宏)で、障害者にとってインクルーシブ(包

撰的)でディーセント(働きがいのある人間らしい)な雇用・就労の場を確保するため、雇用と福祉を一体的に立案・展開できる体制づくりを目指し、当面は障害者雇用の実態(就業率、雇用形態など)を調査するよう厚労省に求めるといふ。「現在は福祉的就労と一般雇用が法的に分断されているため、継続的な支援が実践できていない」(議運事務局次長の石橋通宏氏、民進党)との問題意識が背景にある。設立総会には障害関連の11団体(全Aネット、きょうされん、セルフ協、全国就業支援ネットワーク、全国就労移行支援事業所連絡協議会、日本知的障害者福祉協議会、日本発達障害ネットワーク、精神保健福祉事業団体連絡会、ゼンコロ、全国重度障害者雇用事業所協会、中小企業家同友会障害者問題委員会、主に特例子会社から構成のSACEC)が参加した。

基調講演した松井亮輔・法政大名誉教授は、この10年ほどの就労継続支援A型・B型事業所の利用者の伸びが、雇用率制度に基づく障害者雇用の伸びを上回っている実態を指摘し、その理由を究明するよう議連に求めたといふ。

(文責 上野武治)

第46回学会大会のご案内	1P
2017年度第4回運営理事会報告	3P
委員会報告	5P
ブロック活動報告	6P
学会員投稿	7P
新入会員のお知らせ	8P
事務局からのお知らせ	8P